

HER-2 陽性乳癌

術前3週毎トラスツズマブBS(ハーセプチン)+ドセタキセル療法 患者プロトコール

投与プロトコール 1コース 21日間 4コース 《開始時基準 PS、年齢:制限なし》		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートKeep	生食 500ml	-	Day1	-	
プレメディ	5-HT3R拮抗剤+デキサメタゾン+生食100mL		Day1	30分	
①	ドセタキセル: 75mg/m ² 5%ブドウ糖ハック 250mL	mg	Day1	60分	
②	初回 <input type="checkbox"/> トラスツズマブBS: 8mg/kg <input type="checkbox"/> (ハーセプチン: 8mg/kg) 60mg/Vを注射用水3mL、150mg/Vを注射用水7.2mLで溶解(溶解液濃度21mg/mL)し、必要量を下記に混注 生食 250mL	mg	Day1	90分	
	2回目以降 <input type="checkbox"/> トラスツズマブBS: 6mg/kg <input type="checkbox"/> (ハーセプチン: 6mg/kg) 60mg/Vを注射用水3mL、150mg/Vを注射用水7.2mLで溶解(溶解液濃度21mg/mL)し、必要量を下記に混注 生食 250mL	mg		下記参照	

◆ドセタキセル添付文書: 1回60mg/m²を3~4週間隔で投与し、患者の状態に応じて適宜増減、1回最高用量は75mg/m²。
◆トラスツズマブ(ハーセプチン)は初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。
◆催吐リスクは、ドセタキセル: 軽度、ハーセプチン: 最小度だが、前投薬で5-HT3受容体拮抗薬は必要。

佐賀大学医学部附属病院